

第四課 「清明節、花見」

ナナ：気持ちのいい天気ね！

阿丁：だから陽明山もこんなににぎわってるんだね。

ナナ：見て！ツツジがあんなにたくさん咲いているわ。とてもきれい。

阿丁：そうだね。本当にきれいだ。ツツジは台北市の花なんだよ。

ナナ：みんなツツジが大好きなのね。私が好きな花、何だと思う？

阿南：女の子なら…バラとか、ランとか…？それともユリかな？

ナナ：ううん、私、白いツバキが大好きなの。デュマの「椿姫」、読んだことある？

阿南：もちろん！あ、もうお昼だ。阿酷と阿妹もそろそろ着くはずだけど。

—阿酷と阿妹が手を振りながらやってくる。

阿酷：待たせてごめん。今日は4月5日の清明節だから、家族と墓参りに行ってたんだ。

ナナ：清明節って？

阿妹：清明節は、家族一緒にお墓参りに行く日なのよ。

ナナ：へえ。日本だと、8月中旬のお盆の時に行くのが普通よ。

阿酷：台湾では、信仰している宗教によってお供え物やお参りの仕方も違うんだ。

阿妹：道教を信仰している家は、お墓の前でお香をたいたり、紙のお金を燃やして祖先に送ったりするの。

ナナ：どうしてそうするの？

阿妹：祖先が天国でお金に困らないようにするためよ。

ナナ：日本には、紙のお金を燃やすという風習がないから、とても面白く感じるわ。

阿妹：世界各地にそれぞれの文化があるのよね。

阿丁：でも祖先を思う気持ちはきっと同じだよ。

